



愛知県議会議員（岡崎市・幸田町）

県政報告

しんかい正春

～「現地現物」そして「安全は全てに優先」～

2019年8月 VOL10
発行 しんかい正春事務所
〒444-0837
岡崎市柱6丁目5-5
TEL・FAX 0564-58-0128

変わらぬご支援・ご協力、ありがとうございます

一 県政発展と岡崎・幸田地域発展のため、これからも精一杯がんばります 一

皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年4月7日の県議会議員選挙は激戦となりましたが、20,556票の温かいご支持をいただき、当選することができました。選挙戦では本当に多くの方々から激励のお言葉をいただき、常に勇気をもって頑張ることができました。

「令和」という新しい時代が始まった今年度は、私にとって県議2期目のスタートの年でもあります。皆様の期待を背に、引き続き様々な地域の課題に取り組むとともに、「現地現物」「安全は全てに優先する」をモットーに、安心して安全なまちづくりに取り組んでまいります。

本号では、私の政務活動の一端をご報告させていただきます。ご高覧いただければ幸いに存じます。今後とも引き続き、一層のご支援・お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



愛知県議会議員 新海正春

愛知県議会での活動報告

○臨時県議会

令和元年5月27日に開催された臨時県議会において、私は常任委員会では**建設委員会の委員長**に選任され、特別委員会では**行財政改革・地方創生調査特別委員会委員**に就任しました。

また、消防・地震防災議員連盟、私学振興議員連盟、次世代産業振興議員連盟、土地問題対策議員連盟に所属し、県議2期目の活動をスタートしました。

○定例県議会

令和元年6月の定例県議会は6月14日に開会し、20日間の会期を経て7月3日に閉会しました。私は6月19日の本会議において、一般質問を行いました。最終日の本会議では各委員長報告の後、一括採決され、第92号議案「令和元年度愛知県一般会計補正予算（第3号）」をはじめ16件の議案及び6件の意見書は、全て原案通り可決・同意されました。



【質問1】

農業用ため池の防災・減災対策の推進について

- (1) 個人所有のため池が多く、管理においては高齢化により管理組織自体が脆弱化しているなどの問題点が多い。個人等のため池所有者に対して、県はどのような支援を行うのか。
- (2) 再選定された「防災重点ため池」の防災・減災対策について今後、県はどのように取り組むのか。



【回答】（農林基盤局長）

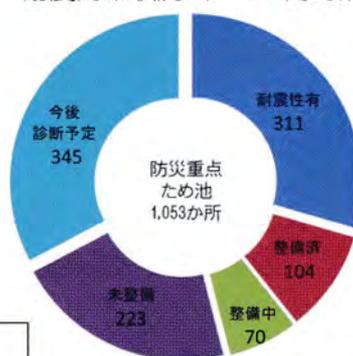
- (1) 県内 2,170 か所の農業用ため池のうち、現時点で 1,180 か所が法律に基づき届け出が必要となる見込みである。このためホームページや広報誌、パンフレットを配布などにより、所有者にこの法律の趣旨を確実に周知していきたい。県が把握できている 1,082 か所のため池については速やかに諸元を提供するとともに堤体の高さや貯水量などが把握できていない残りの 98 か所のため池については、市町の協力を得て県が調査し、算定した諸元を所有者へ提供することで、所有者の負担軽減に努めていく。
- (2) 735 か所の「防災重点ため池」の内 721 か所の耐震診断を終え、399 か所のため池で耐震性の不足を確認しており、このうち 98 か所の耐震整備を完了している。昨年度に豪雨に対するため池の安全性の調査を行い、現況の洪水吐の能力不足が判明したため池については、耐震対策と豪雨対策を一体的に整備できるよう、農林水産省の補助事業を活用し今年度から着手している。こうした中、国の定めた新たな選定基準に基づき、県内 2,170 か所の農業用ため池から 1,053 か所を「防災重点ため池」に再選定したところである。関係市町やため池管理者、受益農家などと調整を進め、ソフト・ハード両面から防災・減災対策に取り組んでいく。

【回答に対する私からの要望】

地震・豪雨時に、ため池の決壊危険度をリアルタイムに予測し、予測情報をインターネットやメールを通じて防災関係者に配信するとともに、被災したため池の状況を全国の防災関係者に情報共有する「ため池防災支援システム」が開発され、最終的な改良を行い今後、本格運用を予定していると公表されている。ため池決壊による人的被害の防止と、迅速な災害支援に役立つことが期待できるので、国に対して早期にシステムを活用できるよう要望していただきたい。

※「防災重点ため池」とは、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

耐震対策状況（R1.6月時点）



QRコードをスマートフォンやタブレット端末などのカメラで読み込んでいただき、愛知県議会の録画映像を見ることができます

ため池箇所数（か所）

| 区分 | 尾張 | 西三河 | 東三河 | 計 |
|-----|-------|-----|-----|-------|
| 箇所数 | 1,151 | 538 | 481 | 2,170 |

[質問2]

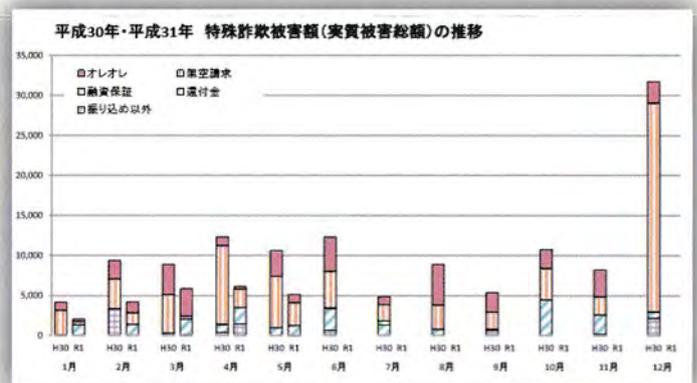
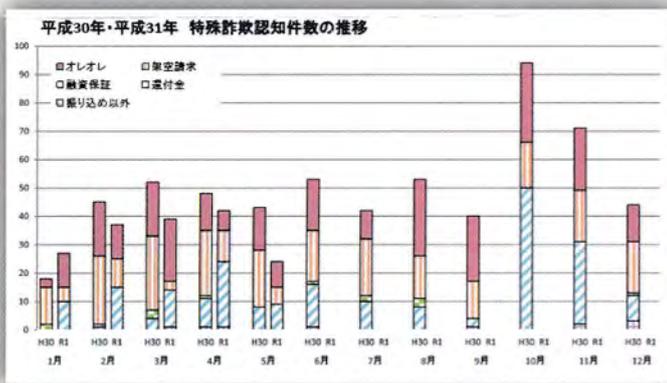
特殊詐欺の被害防止対策について

特殊詐欺被害をさらに減少させるため、どのような防犯対策に取り組んでいくのか？
警察本部長のご所見を伺います。

[回答] (警察本部長)

当県における特殊詐欺被害は減少傾向にあるものの、依然として高水準で推移し、予断を許さない状況にある。こうした状況に対して県警察では、家族や地域社会全体で高齢者を見守り、被害を生まない環境づくりを推進しているところであり、中でも高齢者への注意喚起や犯人からの電話への対策等をより一層強化していくことが重要であると考えている。

高齢者への注意喚起としては、振り込め詐欺被害防止コールセンターから高齢者宅に電話したり、各種広報媒体を活用したりして注意を促している。今後は食品を各家庭に配達する事業者と連携し、広報誌を配布するなどして、高齢者やその家族の防犯意識が定着するよう努めていきたい。



これまでの政務活動により動き出した事業

① 岡崎特別支援学校の農業大学校敷地への移転

質問により移転に向けた調査費が2019年度に予算化

② 広田川大規模特定河川事業の事業採択(2019年度)

菱池遊水地整備: 2026年度完了目標 総事業費58億円

③ 砂川大規模特定河川事業の事業採択(2019年度)

道路橋改築: 中根橋、若砂橋、砂川橋 2027年度完了目標 総事業費14億円



国土交通省河川事業
新規事業採択!



議員活動報告（第70回全国植樹祭あいち2019に参加）

天皇皇后両陛下は、即位後初めての地方公務として令和元年6月2日、愛知県尾張旭市で行われた「全国植樹祭」の式典に出席されました。

県内外から招待された約1万人を前に、天皇陛下は「健全な森を次世代のためにつくっていくことは、私たちに課せられた大切な使命であると考えます」とのお言葉を述べられました。式典の会場に植えられた苗木は、天皇陛下が花粉の飛散が少ないというスギなど3種類、皇后陛下は愛知・岐阜・三重県だけに分布する固有種のシデコブシなど3種類を植樹されました。今回、私も記念植樹を行ってまいりました。

両陛下は植樹祭の後、岡崎市の障害児などが入所する施設「県三河青い鳥医療療育センター」を訪問されましたが、両陛下の来岡を歓迎する多くの市民が沿道などに集まりました。



愛知県議会を傍聴して（Y. Tさん）

6月19日、梅雨晴れの午後、少し緊張気味に本会議場の傍聴席に着きました。私たちが一票を投じた新海議員が果たしてどんな質問をされるのか、期待で胸をはずませました。

期待通り新海議員は真剣なお顔で声高らかに、ゆっくりと分かりやすく、時に強い口調で二つの質問をされました。その姿は本当に頼もしく、今後もますます県民のために活躍されることを確信することができました。



<しんかい正春議員の活動記録2019>



公式ホームページ開設しました shinkaimasaharu.com

◆「しんかい正春事務所」へ皆様のご意見をお寄せください。

E-mail: m-shinkai@mics.ne.jp TEL/FAX 0564-58-0128

